

【 元気堂 】(第314号 2009.08.14)

現在、関東甲信地方は、関東地方北部は概ね晴れており、関東地方南部や甲信地方は曇りまたは晴れで、弱い雨の降っている所があります。

今日は、日本海に中心を持つ高気圧に覆われてくるでしょう。

このため、現在曇っている関東地方南部や甲信地方でも、次第に晴れてくるでしょう。
夜には関東甲信地方の広い範囲で雲が広がる見込みです。

明日も、日本海に中心を持つ高気圧に覆われるでしょう。

このため、関東甲信地方は、晴れで朝晩は曇りでしょう。

【 土日のお天気 】

	15日(Sat)		16日(Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌		28/ 20		26/ 20
秋田		26/ 22	//	27/ 21
仙台		27/ 20		26/ 20
宇都宮	//	30/ 20	//	29/ 20
東京	//	30/ 24	//	29/ 24
横浜	//	30/ 25	//	29/ 23
長野		31/ 19	//	31/ 20
静岡	//	31/ 23	//	31/ 23
名古屋		31/ 24	//	33/ 24
新潟		27/ 21		28/ 22
金沢		29/ 22		30/ 22
大阪		32/ 24	//	34/ 25
神戸		29/ 24	//	32/ 26
広島	//	28/ 25		29/ 24
松江		29/ 22	//	28/ 22
高松		30/ 25		31/ 25
高知		31/ 25		30/ 25
福岡		28/ 25	/	31/ 25
鹿児島		32/ 26		33/ 26
那覇	//	32/ 27	//	32/ 27

(:晴れ, :くもり, :雨, *:雪 :のち, // :時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 銀座のおねえちゃんより怖いものは・・・ 」 平成 21 年 8 月 10 日の日記より

先日、不動産管理会社が主催する経営セミナーに参加しました。
講師は、サイバードを設立し、2年でJASDAQに上場した真田哲也氏。
タイトルは、「**貴社の新規ビジネスを成功に導くカギ**」。

プロフィールと演題から推測し、新規事業を成功に導くには、**がんがんやりましょう**という話かなと思ったらさにあらず。副タイトルの通り、「**新しい事業は何かを捨てないとできない!**」という、極めてシビアな経営の話でした。

講演は、事前に提出された2つのアンケートを見た感想を述べながら、2社にたいするアドバイスを交え考え考えしながら真摯なものでした。

概略は次の通り。

【 **多角化と海外進出は銀座のおねえちゃんより怖い** 】

会社をつぶす原因だ。

急成長で何でも良いからの勢い任せの多角化や海外進出は、計画にブレーキをかける勇気が必要。
急成長ではお金はできるが、一番調達できないのは「人」。
会社の大小に関わらず、(経営を任せられる)優秀な人材はいても2、3人。
買収などによって、結果論多角化はOKの場合がある。

【 **事例検証** 】

1. 成功例 楽天

買った会社の社長を本体の役員を兼任かそのまま社長をやらせた。
これは、上場当初に、優秀な人材2、3人が上場益を得てやめてしまい、本体に人がいなくなったことの反省から、方針転換しその後大成功にいたっている。

2. 失敗例 ライブドア

買収後役員全員解雇。本体(ライブドア)から役員を送り込んだため、本体の中に誰もいなくなった。人材不在の中での暴走でご承知の結末。

【 **方向が分散することでリスクが増大** 】

さらに、安易な多角化がいけないのは、方向が分散することが問題(リスクが高くなる)だ。
結論は、企業には経営者に代わる人材はいない。いてもせいぜい2、3人だ。そのことを理解できていないから、多角化や勢いにのった海外進出は必ず失敗の轍を踏んでいる。

【 **感想** 】

セミナー後の懇親会で、名刺交換と情報交換をしました。はったりもなくとてもまじめな方でした。当社のアドバイスもしっかりお聞きしました。ここでは企業秘密はいえませんが(笑)。楽天とライブドアの話は、分かりやすくとても勉強になりました。

一番納得できたのは、「**企業には人はいないということを知るべきだ**」という本音でした。もちろん、良く働く優秀なサラリーマンのことをさしているのではありません。生きるか死ぬかで日々生きている経営者とサラリーを8時間の労働の対価としている労働者とは根本的に異なり次元が違うという意味です。その意味では経営者は自分の判断で会社が左右されるので孤独であり、休みはないのがフツー。24時間事業を考え経営するべきだということです。

【 e健康生活 】

「**低タール低ニコチンで、吸煙量が多くなり動脈硬化へまっくら**」 2009年08月13日の日記より

低タール低ニコチンのたばこを吸っている人ほど、吸煙量が多く、タールやニコチンが多いたばこを吸っている人と同程度の有害な化学物質にさらされていることが、厚生労働省研究班(麻布大遠藤准教授)の調査でわかりました。

【 主な結果 】

1. 1回当たりの平均吸煙量は、低タールのグループは高タールのグループより多かった。
2. ニコチン量は、表示されたニコチン量が多いほど増える傾向にあった。
3. たばこの煙に含まれ、動脈硬化などの要因とされる一酸化炭素は、タールやニコチン量による差はなく、ほぼ同量を吸引していた。

【 調査結果の分析 】

「表示が低いからといって、必ずしも健康への影響が表示通りには低くならないことを認識してほしい」と調査した国立保健医療科学院稲葉主任研究員は話している。

(読売新聞8月8日 より編集)

【 感想 】

低タール低ニコチンは、動脈硬化に影響が大であるということを明示するのが「**JTのせめてもの社会的使命**」ではないか。お馬鹿な表示に惑わされている喫煙者がいるから、「**煙こまけばよい**」と言っているとかいないとか。

さて、巷間を賑わせている衆議院総選挙における各政党のマニフェストには、タバコの害毒垂れ流しにどう触れているのだろうか。子供手当や高校の授業料無料化は聞こえが良く一般受けするが、元気な子供と同様に、お年寄りには元気で長生きしてほしいもの。即ち、動脈硬化などで高額医療費のかかる自業自得の高齢タバコ人間を、本気で減らす政策が、経済的負担を大幅に縮小することに気がついて欲しいものだ。健康目的と誤魔化している消費税増税などよりはるかに現実的で効果的だし、子供たちの将来の税負担をきっちりと軽減することになる。

「なにー？先生たちはたばこを吹かさないとはいったりの演説が出来ないって。」そういえば、過去にもがらがら声で恫喝気味の政治家がいたなー。そんなバイキンマン候補者はばさばさ落とそう。今回の総選挙の立会い演説の前には、「**ニコチンチェック**」を実施する踏み絵を提唱します。

【 WISからのお知らせ 】

***** 天気で元気! *****

世界で最初の「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム (**経費節減効果NO1**)

http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj

たのしい競馬に **「馬場コンディション情報」**

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ **「ミスター防災」**

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 **「直売所NOW」**

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 **「ウェザー&ビューティ」**

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>
